

アハウス山科

だより

2026

5

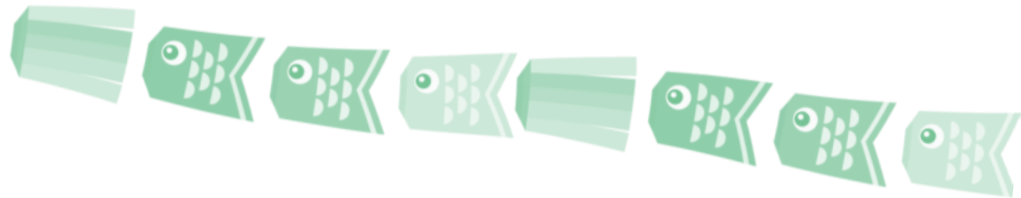
Vol.327



「協調と和」そして「コミュニケーション」を大切にしながら
日々の生活に潤いあるサービスをサポートします

- ◆5/16（土）『健康診断』
※諸事情により延期
- ◆5月『誕生者を祝う会』は、誕生者参加不在のため中止となりました。

- ◆6/2（火）『避難訓練』
- ◆6月『誕生者を祝う会』
- ◆業者による、共用廊下のワックスがけ、居室窓・網戸の清掃を予定しています。
※詳細については、決定次第掲示物にてお知らせします。



施設からのお知らせ

- ◆『健康診断延期のお詫びとお知らせ』
5月16日（土）健康診断の実施を予定しておりましたが、誠に勝手ながら延期とさせていただきます。尚、今年度中に健康診断は実施予定であります。入居者の皆様には直接ご説明をさせていただきましたが、ご家族様にもご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
- ◆入居者の皆様の令和8年7月からの利用料の算定にあたり、令和7年の収入調査を行います。つきましては、入居者様へ個別にお知らせいたします。

入居者の皆様が、施設で生活するうえでとても重要なこととなります。

準備が整い次第、順次お伝えいたします。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

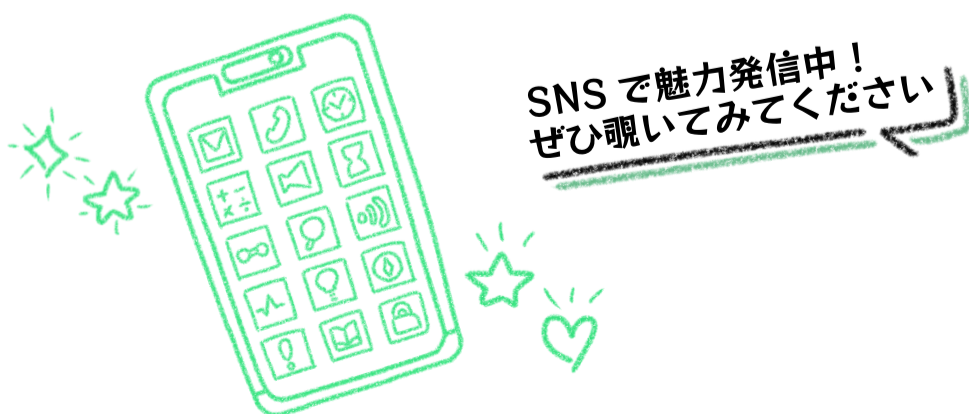
- ◆5月より、毎週月曜日と木曜日のシャワー浴が始まりました。シャワー浴のみで湯船には浸かれませんのでご注意ください。入浴時間は通常通りとなります。《5月～10月》

消防避難訓練

6月2日(火)14時より

避難訓練は、地震や火災時に命を守る具体的な行動を学ぶ機会です。もしもの時、災害時にパニックにならず、冷静に身を守る行動がとれるかを学ぶ機会。ご自身でも、大切な命を守る行動を身につけるために。

ぜひ、訓練への参加をお願いいたします。



公式LINE



Instagram

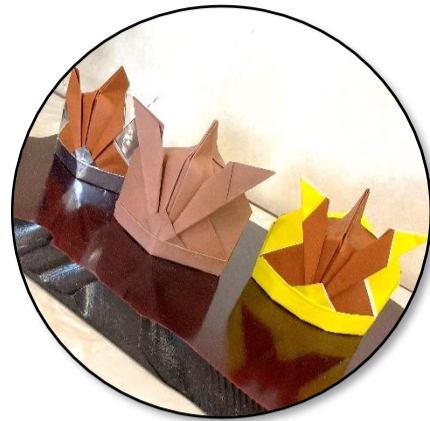


ホームページ

施設の様子

5月5日(火)『端午の節句』 菖蒲の香りとともに。 災いを払い、健やかな日々を。

「端」は「はじめ」という意味で、端午は月の初めの午(うま)の日を表します。男の子の成長を願う日…そんなイメージは江戸時代になってから。もともとは『女性が身を清める日』でもありました。当施設では健康長寿の祈願と季節の情緒を楽しむ行事として捉えています。



施設のあちらこちらに、鯉のぼりや兜のあしらい飾り。入居者の皆様も、季節を感じて楽しんでおられる様子です♪



牛ちらし寿司



お昼ごはんのメニューは、牛ちらし寿司！酢飯の上に甘辛く煮た牛肉、錦糸卵、大葉などを散らした、豪華でボリューム満点な「肉のちらし寿司」です。牛肉の脂の甘みとお酢のさっぱり感が絶妙な一品。皆様楽しんでいただけましたでしょうか？

おやつの中には『柏餅』。緑茶と一緒に召し上がっていただきました♪



皆様、いつまでも 健やかに すごしていただけますように。

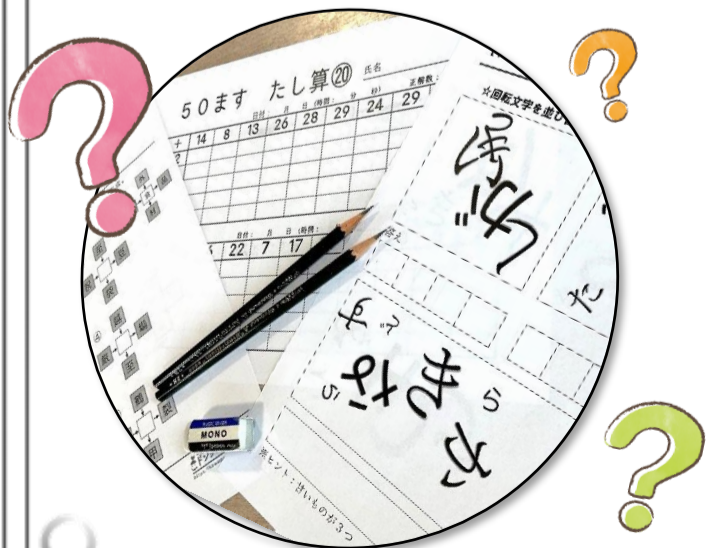
5月10日(日)『脳トレの会』 書く、読む、計算する… みんなで笑って、脳の活性化！

脳トレは、脳の血流を促進し、記憶力・集中力・判断力などの認知機能低下を予防・遅らせるために非常に有効…と、されているわけですが、私たちは笑顔が重要と考えています。

「脳トレは苦手なの」「できなかつたらどうしよう」といったお声も聞かれます。でも、本当は…

『できなくてもいいっ!』

脳トレは、学校のテストや試験ではありません。できなきゃいけないわけじゃないのです。問題解決や理解の瞬間、脳が「あっ、そうか!」とひらめきを感じて腑に落ちる快感の心理があります。このような「突然ひらめく問題解決の概念」を心理学上では『アハ体験』といいます。たとえできなかつたとしても、答え合わせで「なるほど」といった感情を持つ時、効果が現れます。なので、まず、取り組むことが重要なのです！



脳トレの会では、単に漢字や計算プリントに取り組むだけでなく、塗り絵、クイズ、パズル、音楽、体操、カードゲーム…などなど。時には俳句に取り組んでみたり、昔の話で会話を楽しんだり様々。

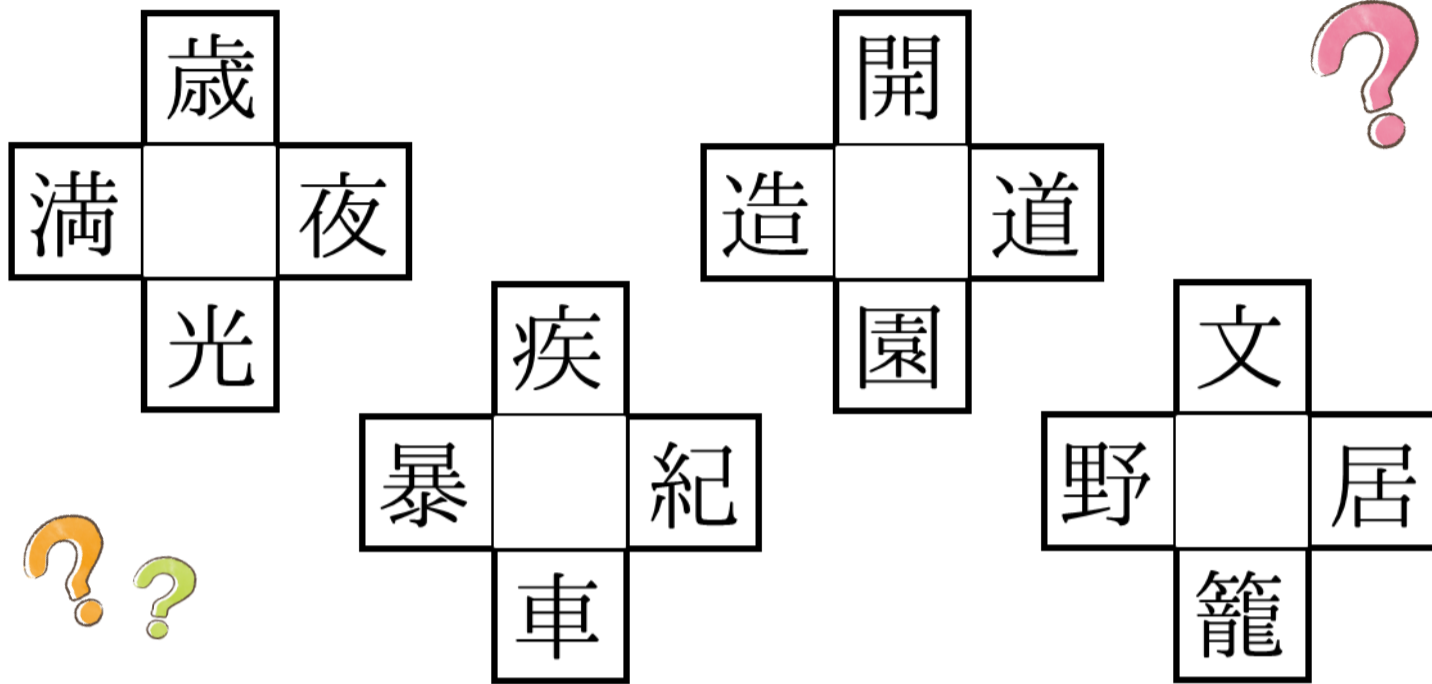
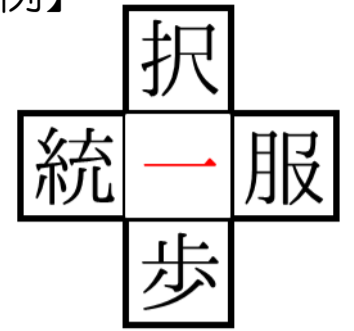
何より 笑顔 になる瞬間を、私たちは大切にしています。

脳トレは「思い立ったときが始め時」です。ケアハウスだよりでもコーナーを新設しました。

ぜひ、皆さんも“レッツ！脳トレ♪”

上下・左右につなげると、それぞれ2文字の熟語になる漢字1文字を、中央の空白マスに入れてください。そして、中央に入れた4つの漢字で四字熟語を作ってください。

【例】



解答

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
|--|--|--|--|

※ 解答は脱衣所横の掲示板にて発表!

コラム



日々是好日

救急搬送時の対応について ~施設からのお願い~

ケアハウス山科は自立した生活が可能な方が対象となる生活の場です。ですが、残念なことではありますが、年々『救急搬送』という事案が増加しています。その大半の理由が転倒であり、骨折等の重傷を伴い、結果、入院に繋がるものも多く発生しています。

話は変わり、先日入居者様に向けて『救急搬送』についてのアンケートを実施しました。救急搬送時の職員の同行及び医療機関での直接対応はできないことに関する認識調査という趣旨のもの。救急搬送時の付き添い（同乗）は職員ができないということ、また、付き添いは家族様（身元引受人）の対応となることについて、8割を超える方がご理解されているという結果を得たものの、3割を超える方が家族様（身元引受人）と「普段からしっかりと会話をしていない」という結果を同時に得る形となりました。

繰り返しにはなりますが、ケアハウス山科は軽費老人ホームであり、いわゆる介護施設（特別養護老人ホーム等）とは異なり、低額な費用で食事・生活支援を受けられる公的な「高齢者向け住居」という位置づけです。ですので、緊急時には家族様（身元引受人）の対応が必要となります。しかし、入居者の多くは「家族に迷惑をかけたくない」という思いがあることも事実であり、「家族としっかりと話をしていない」ということに繋がっていないでしょうか。皆様にはご理解の上でご入居していただいたはずですが、様々なご事情はあるとは思われますが、家族様には改めて緊急時の対応のご理解と共に、日頃から緊急時の対応へのお話をさせていただきますようお願いいたします。